

# 令和6年度 新しい生活様式に沿った二地域居住の推進実証調査

## 三重県松阪市

## 二地域居住等における子育て環境の整備及びコーディネーターの育成

### 《概 要》

#### 実施の目的

調査対象地域の三重県松阪市飯高町は急速に過疎化が進んでおり、地域を維持していくためには一定数の移住者、特に子育て世代に移住してもらうことが大切になっている。

また、事業承継や地域活動の担い手不足への対応など、様々な場面で移住促進の必要性が増してきていることから、地域移住の不安軽減に向け、まずは二地域居住を検討している人に新たな土地での生活の機会を提供し、地域に対するニーズの検証や受入体制の課題を洗い出し、今後の取組のためのノウハウを積み上げる。

#### 実施概要

現在の拠点を無くして完全に移住することは、移住を考える上でのハードルになっていることから、住んでいる拠点を残しながらの新たな土地でのお試し生活は、万が一、ミスマッチが起きても元に戻れるというメリットがある。今回の実証調査により、ニーズ検証や、課題を洗い出し、移住促進に向けたノウハウを積み上げた。

- ①二地域居住コーディネーターの育成
- ②お試し住宅の用意
- ③保育園留学の体制の構築
- ④区域外就学制度を活用した二地域居住先での就学体制の構築
- ⑤二地域居住の体験移住ツアー実施



#### 調査体制

- 【三重県】
  - ・業務全体の企画調整、統括、進捗管理
- 【松阪市】
  - ・住民自治協議会との連携業務
  - ・松阪市各振興局との連携、調整業務
  - ・各学校やこども園との調整業務
- 【松阪市香肌地域づくり協同組合】
  - ・本プロジェクトの進行管理
  - ・企画立案、デザイン作業全般
  - ・空き家バンクの物件活用調整
- 【宮前まちづくり協議会】
  - ・コーディネーターの育成
  - ・イベントの実施や地域への周知業務
  - ・アンケート調査、集計

#### 期待する効果

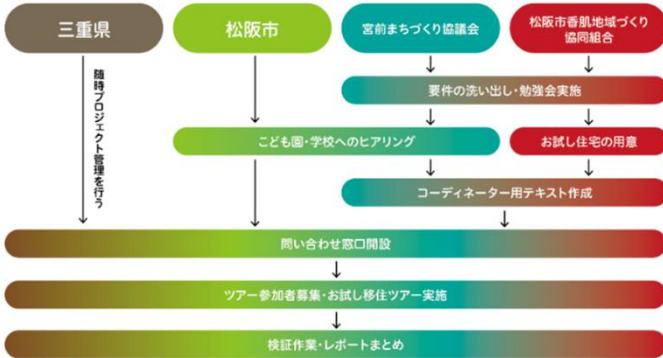
- 二地域居住コーディネーターの育成  
二地域居住コーディネーターの育成を通じて、地域内に一定のノウハウが蓄積され、二地域居住という新しい暮らし方を広く周知することができる。  
コーディネーターの育成マニュアルを持つことで、他の自治体などでも同様の事例を実施したいといった希望があった場合に、その育成プロセスを共有することで、事業の横展開が可能であり、汎用性が非常に高いプロジェクトである。



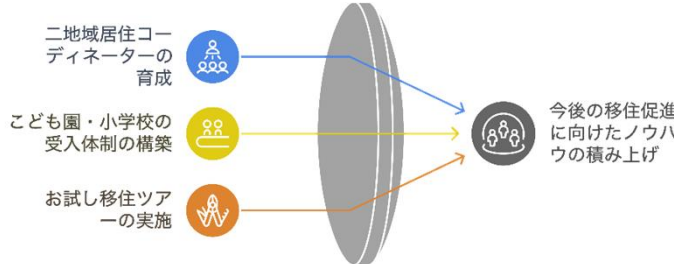
### 《主な調査内容》

#### 取組内容

#### 二地域居住等における子育て環境の整備およびコーディネーターの育成



#### 主な検証内容



- コーディネーター育成のテキストなどを作成してコーディネートする際に、コーディネーターとして必要なスキルについて検証。
- 二地域居住コーディネーターを有効に活用するために必要な地域ネットワークの洗い出しや、地域とのコミュニティづくりに何が必要となるのかを検証。
- こども園や小学校の受入体制の構築にかかる課題や、今後、継続して実施する場合の課題等を抽出して検証。
- 二地域居住のハードルになっている課題について、お試し移住体験者へのアンケートや聞き取りなどから抽出。



空き家の片付け



コーディネーターの育成



小学校の体験入学



保育園留学